

在宅診療所と認知症専門外来で嚥下を診ている歯科医師が、
嚥下障害・在宅医療・認知症に関する情報をお届けしています

Pickup! 花粉症の薬と嚥下

日差しが春めいてきました。3月は花粉の季節ですね。花粉症の薬で以前よく使われていた「第一世代」の抗アレルギー薬（ポララミン・レスタミンなど）は、「眠くなる」「口が渇く」などの副作用が強く出やすい傾向がありました。最近では副作用が出にくい「第二世代」の抗アレルギー薬（クラリチン・アレジオンなど）がよく使われています。

高齢の方は薬の副作用が強く出やすい傾向があります。最近飲み込みが悪いと思ったら、花粉症の薬のせいだった！ということも時々あります。そんな時は飲んでいるお薬も確認してみてくださいね。



花粉症の薬の副作用

- 眠くなる
- 口が渇く
- 尿が出にくい

発行者：亀井倫子（歯科医師）



東郷医院・のぞみメモリークリニック所属

三鷹市の東郷医院で訪問歯科をしています。ご自宅や施設で口腔ケア・歯科治療・嚥下検査をしています。また、のぞみメモリークリニックでは外来で嚥下評価をしています。要介護の方・難病の方・認知症の方・障がいのある方などの歯科と嚥下を日々診ています。

【経歴】

広島大学歯学部卒

大阪大学大学院歯学研究科博士課程在籍

（社会人大学院生）

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

日本栄養治療学会 認定歯科医

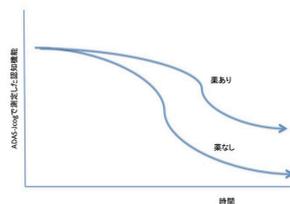
日本老年歯科医学会 会員

DHP嚥下研修 初級・中級・嚥下内視鏡マスターコース修了

Good to know! どうしてMRI検査・心理検査を定期的にやるの？

認知症の診断のために「MRI検査」と「質問の検査」（神経心理検査）が行われることが一般的です。のぞみメモリークリニックでは半年に1回など定期的にこれらの検査を行い、「認知症の薬の効果」の判定をしています。アリセプトを飲み始めて以降、どのように認知症が進行しているかを確認することはとても重要です。想像してみてください、効いているのか効いていないのかわからないままお薬を飲み続けるのって嫌ですね。「治療の効果をきちんと判定する」「薬を出しっぱなしにしない」という、受診者の方々への責任を果たすために、定期的な検査が必要になっています。

これらの検査は「どんな生活のしづらさがあり、これからの暮らしをどう創っていけばよいか」を、ご本人やご家族と一緒に考えるためでもあります。出来るだけ検査を継続して頂けるよう私たちも精一杯サポートします。



訪問歯科診療・口腔ケア・嚥下評価の
お申し込みは「東郷医院」へ



東郷医院：訪問歯科

080-4326-8264

tougouin.dental@gmail.com

MRIなど認知症検査・外来での嚥下検査の
お申し込みは「のぞみメモリークリニック」へ



のぞみメモリークリニック

脳MRI検査・嚥下外来

0422-70-3880